

## 国産材の利用拡大に希望を持とう！

1/24 木構造振興株式会社の代表取締役の山田壽夫氏（元・九州森林管理局長）の講演会が有りました。山田氏は鹿児島大学卒業で実家の人吉市には 1000ha の山林を所有し、毎年数十 ha の植林をされているそうです。今後、森林を管理している事を証明する森林認証制度は進めるべきであるが、「国産材産地」「県産材振興」「ブランド化」は必要ないと、三脱宣言を提唱された時には違和感をおぼえたが、講演を聞く中で次第に真意を感じました。森林・林業再生プランで川上だけに力を入れても市場の必要とする材料でなければ木材価格は安くなる。市場の要求は、強度や寸法精度等、品質・性能の明確な乾燥材や集成材に変化してきており、これに対応する事が必要である。

木材は国際競争になっており、それに勝つ為には林業経営から木材加工まで革新が必要だ。その為には ICT 活用（情報と通信・解析技術）が今後の課題となる。例えば、3 月打ち上げ予定の GPS 衛星による正確な位置情報を活用して植林から伐採までの無人化・高能率化等が可能となり（北欧では林業機械を年間 3000 時間以上稼動）、コストダウンができる。そういう方向を目指し、経営を進化させなくてはダメだ。昭和 50 年ごろ鹿児島大学の赤井先生が「これからは住宅の和室が減り、化粧材や銘木は使われなくなる。並材の時代が来る」と将来を予測されたが、それに取組んだのが宮崎県であり、その結果「杉の並材生産日本一」となった。ドローンや GPS の活用は今後の林業を大きく変える可能性がある。将来へ希望を持って一步を踏み出して欲しいと締めくくられた。

一時間半の時間があっという間に過ぎた楽しい講演会でしたが、現状から将来へのステップをどのように進めるかが、我々に与えられた課題です。

### 【情報】

\*構造用合板の入荷が少ない状況が続いています。「これから徐々に値上がりする」という情報と「そろそろ落ち着いてきた」という情報が錯綜しています。特に厚物は入荷時期が確定できないようです。早めの手配をお願いします。

\*KD、グリーン共に、柱材や小割り材の入荷が少なくなっています。適材がバイオマス等に向けられ原木が高騰しているにも関わらず、製品価格が伸び悩んでいる為、出荷意欲が無くなっているようです。合板同様早目の手配をお願いします。

\*上記講演会で配布された「科学的データによる 木材・木造建築物の Q&A」という冊子は、今まで漠然と「木は健康に良い」とか「木は環境にやさしい」などと言ってきた事をより具体的に示した資料です。設計士さんや工務店さん施主に「木の良さ」を PR する参考になると思います。

（問合先：鹿児島県木材協同組合連合会 電話 299-267-5681）

### 【定休日】

2 月は 3, 4, 10, 11, 17, 18, 25 日となります

3 月は 3, 4, 11, 17, 18, 24, 25 日となります

宜しくお願いします。

（お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで）

Q 木材の匂いを嗅くと、免疫力がアップしますか？

A 人体の免疫系への働きかけが徐々に明らかになりつつあります。風邪の予防などに木材の匂いを活かせるようになるかもしれません。

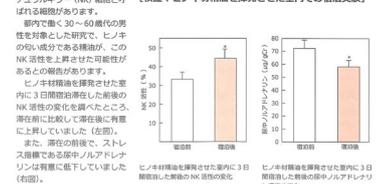
本誌ですか？

作製の仕頃はまだ不明ですが、木材の匂い成分が、ストレスを軽減し、免疫細胞の働きを向上させるかと考えられます。

より詳細を...

●ヒノキの匂い成分がヒトの免疫細胞の働きを向上させたとの報告があります。

【検証：ヒノキ材精油を揮発させた室内での免疫細胞測定】



科学データによる Q & A